

大河津分水って??

日本一長い川、信濃川。流れる水の量も日本一。私たちの暮らしに必要な水をたくさん流します。しかし、昔は大雨などでたくさん水害がおこった暴れ川でした。そこで、人々の命と暮らしを守るため、平地と山を切り開き、人工の川「大河津分水路」を作りました。100年以上前に作られた「大河津分水路」。今も越後平野の人々の暮らしを水害から守っています。

この大河津分水には、水をコントロールする新旧の堰や、多くの石碑があります。さわやかな川風を感じながら、大河津分水の水辺を歩いてみませんか。

①信濃川大河津資料館



大河津分水ができる前の新潟の暮らしや、工事についてたくさんの展示があります。4階の展望室からは雄大な景色が楽しめます。

②旧可動堰



陥没した自在堰のかわりに昭和6年につくられました。平成23年までの80年に渡り、越後平野を水害から守りました。ゲートは10門ありましたが、現在は3門残されています。

③可動堰

主に大河津分水路に流す水量をコントロールし、平成23年につくられました。少し丸い形をしたラジアルゲートが使われています。



④⑤いろいろな石碑

資料館周辺には大河津分水に関する石碑が15個あり、それぞれの石碑に大河津分水への想いや歴史が刻まれています。



⑥旧洗堰



大正11年につくられ、平成12年まで使われました。平成14年に国の有形文化財に登録され、現在は旧洗堰のゲート下を潜り抜けることができます。

⑦大河津出張所



洗堰・可動堰を操作している施設です。3階にある操作室はガラス越しに見ることができます。4階の屋上からは展望を楽しめます。

⑧洗堰



主に信濃川に流す水量をコントロールし、平成12年につくられました。日々の生活や田畑で使う水を一定量流し続けています。地下には魚道観察室があります。

周辺の公園

❖大河津分水公園

信濃川の水が流れている体験水路があり、川の中に入って遊んだり、魚や貝、昆虫など様々な水辺の生き物を観察することができます。周辺には水道や東屋もあるので休憩もできます。

❖さくら公園

桜並木沿いにあり、27種類460本の桜を含む603本の高木など四季折々の花木が植栽されています。大河津分水路や国上・弥彦山を望める築山を備えた中央広場や、子どもたちが遊ぶ大型遊具もあります。